

今週のお祈り
聖霊降臨後第15主日特禱(特定20)

あわれみ深い主よ、どうかみ民を赦し、平安を
与え、その罪をことごとく清め、穏やかな心
をもって主に仕えさせてください。主イエス・
キリストによってお願いいたします。アーメン



日本聖公会 東京教区
聖パウロ教会 にちようがっこう
〒153-0053 目黒区五本木 2-20-1
でんわ：03-3710-6031

号外268

発行日
2025年
9月21日

だいぶ涼しくなりましたね。体調にも気をつけてお過ごしてください。日曜学校では10/12(日)16時～「秋の夕べ」を開きます。詳しくは郵送のお知らせをご覧ください。お問い合わせは教会まで。皆で来てね!

今週の聖書 ルカによる福音書 16:1-13

1 イエスは、弟子たちにも次のように言われた。「ある金持ちに一人の管理人がいた。この男が主人の財産を無駄遣いしていると、告げ口する者があった。2 そこで、主人は彼を呼びつけて言った。『お前について聞いて聞いていることがあるが、どうなのか。会計の報告を出しなさい。もう管理を任せておくわけにはいかない。』3 管理人は考えた。『どうしようか。主人は私から管理の仕事を取り上げようとしている。土を掘る力もないし、物乞いをするのも恥ずかしい。4 そうだ。こうすれば、管理の仕事をやめさせられても、私を家に迎えてくれる人がいるに違いない。』5 そこで、管理人は主人に借りのある者を一人一人呼んで、最初の人に、『私の主人にいくら借りがあるのか』と言った。6 『油百バトス』と言うと、管理人は言った。『これがあなたの証文だ。早く座って、五十バトスと書きなさい。』7 また別の者には、『あなたは、いくら借りがあるのか』と言った。『小麦百クロス』と言うと、管理人は言った。『これがあなたの証文だ。八十クロスと書きなさい。』8 主人は、この不正な管理人の賢いやり方を褒めた。この世の仔らは光の仔よりも、自分の仲間に対して賢く振舞っているからだ。9 そこで、私は言っておくが、不正の富で友達を作りなさい。そうすれば、富がなくなるとき、あなたがたは永遠の住まいに迎え入れてもらえる。10 ごく小さなことに忠実な者は、大きなことにも忠実である。ご



聖書からのメッセージ

執事 林 汶慶

イエスさまは弟子たちにあるたとえ話を語った。ある管理人が主人の財産を無駄遣いしたとして告発され、解雇されることになった。追い詰められた管理人は、主人に借金をしている人たちの借金を減らしてやった。これは、自分の将来を考えてのことで、これによって、主人に借金のある人たちの誰かが、自分を雇ってくれることを期待していたのである。危機の中でも自分の将来を見据えて行動したこの管理人は、主人が「賢い」と褒めた。

イエスさまが弟子たちに教えようとしたのは、まさにこの点である。このたとえのように、世の人たちでさえ危機に直面すると、将来に備えて、何らかの行動を起こす。イエスさまの弟子として、なおさら積極的に備えて、行動を起こすべきではないだろうか。私たちが将来に備えて、今すぐ行動し、イエスさまに従って行こう。

く小さなことに不忠実な者は、大きなことにも不忠実である。11 だから、不正の富について忠実でなければ、誰があなたがたに真実なものを任せるだろうか。12 また、他人のものについて忠実でなければ、誰があなたがたのものを与えてくれるだろうか。13 どんな召し使いも二人の主人に仕えることはできない。一方を憎んで他方を愛するが、一方に親しんで他方を疎んじるか、どちらかである。あなたがたは、神と富とに仕えることはできない。」